



バンブーレター

4月になりました！春です！すでに葉桜になつて、桜の木もありますが、新緑もまた美しいですね。新一年生、新社会人、新学期など、新たなステージが始まる皆さんにおかれましては、緊張しつつも期待に満ちあふれた毎日かと思います。

一日一日を大切にして、実りある毎日を過ごしてくださいね。

私自身、3月から議員の職務以外に市監査役として今まで経験したことがない職務に就かせていただきました。新たな気持ちで職務を全うして参ります。

さて、2月28日から3月28日までの29日間にて、令和5年第一回定例会が開催されました。

一般会計他、特別会計など33件の議案が上程され、(各務原)市議会会派颶清会メンバーと一つ一つ議案を慎重に審査し、会派として、全ての議案に賛成し採決の結果全ての議案が原案のとおり可決、同意されました。

各議案の詳細については、各務原市議会ホームページをご覧いただければ幸いです。また、大竹大輔、颶清会のホームページも合わせてご覧ください。

それでは、今月もいつまで住み続けたいまち、かみがはら！に向け、邁進して参ります。また、この会報が皆さまのお手元に届くころには、ちょうど岐阜県議会議員選挙が行われております。

投票は私たちの大切な権利の一つです。是非、投票に行きましょう！



ご挨拶



〔工場用地の必要性について〕

① 工場用地のニーズ調査など行っているか？

2月28日から3月28日までの29日間の会期にて、第一回定例会が開催され、3月13日に、颶清会から代表質問として、大きく3点させていただきました。今回は、「工場用地の必要性」についてご報告させていただきます。

各務原商工会議所と連携・協力しながら、市内企業に対するアンケートや企業訪問、意見交換会など様々な機会を通じて、最近の景気の動向や、新たな取り組み、課題などについて把握するよう努めています。

「工場用地のニーズ調査」につきましては、令和3年度に各務原商工会議所が会員向けにアンケートを実施しており、17社が「工場用地を探している」と回答しています。

また、令和4年度に市が市内事業者向けに実施したアンケート調査では、14社が「事業用地の確保」を課題として挙げられています。市内に立地可能な工場用地があるかといった問い合わせを、市内外の様々な事業者や金融機関などから、ここ2年余りで約40件いただいております。

②さらなる工場用地の必要性をどう考えるか？

新たな企業の立地は、雇用を創出し、地域経済を活性化させ、市の税収増加に直結します。安定的な財源確保は、教育や福祉施設の充実にもつながることから、さらなる工業系用地の確保は重要であると考えています。

このため、平成30年6月に市が市土地開発公社に要請し、各務山に新たな工業団地となる「テックフォルテ各務原」を造成しており、分譲販売した5区画の土地は予定価格を大きく上回る高い価格で落札していました。

今後立地が可能な新たな工場用地については、令和5年度は、市土地開発公社が販売を予定している「テックフォルテ各務原」の1区画のみで、物件確保が課題となつております。現在、不動産事業者が所有する情報を取りながら、空き工場などの情報があつた場合には紹介するなど対応しておりますが、物件数が十分にないのが実情です。

更なる工業系用地の確保につきましては、市全体における「土地利用の方向性」つまり都市計画マスター・プランでは、工業系地域については、自然との調和を図りながら、既存産業の維持・拡大に対応するとともに、新たな産業のための土地の確保に努め、立地需要の受け皿となる産業用地の確保に向け、市内外の企業の声に応えていきたいと考えています。

市政を問う！

(令和5年第1回各務原市議会定例会 颶清会代表質問)



